

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所 / No.2007-R12

先生各位

平成 19 年 5 月

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、シスタチン C の検査方法を金コロイド凝集法から、ラテックス凝集比濁法に変更させて頂きたく、ご案内いたします。ラテックス凝集比濁法は、旧法との相関性が良好であり、精度も良好な結果を得ております。

尚、シスタチン C は、システインプロテアーゼインヒビターの種類で、分子量 13kDa 塩基性低分子タンパク質で、遺伝子はハウスキーピングタイプであるため、細胞内外の影響を受けずに、体内のあらゆる有核細胞から、常に一定量産生され、細胞外に分泌されます。

血中に分泌されたシスタチン C は、分子量が小さく、他の血漿蛋白と複合体をつくらなため、容易に糸球体で濾過されますが、糸球体が障害されると血中濃度が上昇してきます。

シスタチン C は、腎前性 (筋肉量や性別など) の影響を受けにくいいため、従来の内因性マーカー (Ccr 等) よりも正確に腎機能障害の早期発見に有用であることが報告されており、腎病変における早期診断の一助としてご利用いただきたく併せてご案内いたします。

敬具

記

実施日 平成 19 年 6 月 1 日 (金) より

変更内容

2007 年 検査案内	項目コード	検査項目	変更内容	新	旧
未掲載	4800	シスタチン C	検査方法	ラテックス凝集 比濁法	金コロイド 凝集法
			所要日数	2 日	3 ~ 5 日
			基準値	mg/ 0.40 ~ 0.91	mg/ M:0.63 ~ 0.95 F:0.56 ~ 0.87

< 参考資料 >

旧法（金コロイド比色法）との比較

（x：金コロイド比色法、y：ラテックス凝集比濁法）

$$r = 0.996 \quad (n = 100)$$

$$y = 0.964x - 0.073$$

$$x \text{ 平均} = 1.123$$

$$y \text{ 平均} = 1.009$$